令和４年度　学校評価（保護者）アンケート　自由記述内容

１学年

課題を抱える児童の保護者ほど、学校では楽しく過ごしていて何も言わないのでよくわからないというので、学校に丸投げで羨ましいと思います。
担任の先生に電話で相談した際、事務的な対応で、相談しにくい雰囲気があった。それ以降、相談していない。
「いじめ予防」の活動を行っているようだが、だからと言っていじめが発生しないわけではない。いじめ発生時の対応について学校としての対応方針はあるのか、またその方針は個々の教職員に浸透しているのか非常に疑問に感じている。 　子供が以前、特定のクラスメイトから繰り返し嫌がらせを受けた際に、まず担任から言われたのが「自分から助けを求められなかった」ということ。被害者にも非があるかの如く、問題をすり替えるような発言を何度か受けた。また学年主任と電話した際は「加害者は、嫌なら嫌と言ってくれないとわからない、と言っていますよ」と、またしても被害者が悪いかのような発言。やめてくれと何度も言っているのに嫌がらせをやめないからこそ問題になっているにも関わらず。 その他、「加害者は元気な子だから～」(分かってあげてというプレッシャー)など。 　心ダメージを受けている被害者をさらに窮地に追いやるような発言が先生方から次々と出てくることに対し、不信感しか感じなかった。このような対応をしているようでは、この学校はいじめの対応が全くなっていないと言わざるを得ない。 一般的に殆どのいじめの被害者は報復を恐れて助けを求められないと統計が出ている。また自分で言えるかどうかと、いじめ問題の解決は全く無関係。論点のすり替えである。 最新の知見を踏まえた適切な対応を望む。 被害者に寄り添うこと、保護・救済が第一ではないか。 加害者にどのような事情があったとしても、問題解決前に加害者を擁護する発言は慎むべきだ。 現在別のクラスメイトが同じ加害者たちの被害に遭っているが、同様のずさんな対応・不用意な発言をしていないか学校内でチェックして頂きたい。(先生にばれるとその加害者の嫌がらせは大抵ひどくなると子供は言っております。被害者が教室に入れない時点で典型的ないじめじゃないですか？対応を誤らないように気をつけてください) いじめ予防に偏重した事なかれ主義では安心して過ごせない。 被害者の立場に立ち、被害者の心と教育を受ける権利を守る対応を徹底させる事を望む。
穏やかに健康に過ごせていると思います。
学校から頻繁にメール配信があり、保護者へ向けて学校側の取り組みを発信しようとする姿勢をとても感じます。また、ふるさとマラソンなど地域の方々と接する行事もあり、人間関係が希薄になりつつある中で、こういった地域の方々と接する機会があるのはとてもよい点だと感じています。
子どもから学校内でいじめやそれに等しい行動や言動があると聞きます。難しい問題だとは思いますが、未来ある子どもに対する鴨志田中学校の積極的な取り組みに期待いたします。

２学年

楽しい学校生活を送れているのも、先生方の良い雰囲気があるからだと思います。 いつもありがとうございます！！ とても感謝です。 このまま真っ直ぐに成長してほしいと願ってます。

３学年

問いの前に取り組み内容がありますが、文字だけを読んでも実際にはどうなのか？想像が出来ないと思いました。 全体的に保護者からみての回答なのか親子で話して回答した方が良いのか迷いました。
今年度は各種行事を実施していただき、先生方には本当に感謝申し上げます。 ３年生にとっては最初で最後となった行事もありますが、貴重な経験となり成長を感じる事ができました。 学校行事は子ども達にとってやっぱり必要なものだと痛感いたしました。 最近ではテレビを観ても街中を見ても以前のような日常が戻ってきているのに、子ども達だけがずっと変わらず制限された生活を送っている事が可哀想で大人として申し訳ない気持ちになります。 現３年生は入学式からずっとマスク生活です。 どうか最後、卒業式はみんなの素顔を見ることができますよう願っております。